

## LESSON NOTES

# Advanced Audio Blog S4 #17

## Top 10 Japanese Songs: Nanatsu No Ko

---

## CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 3 Romanization
- 4 English
- 5 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 7 Grammar

# 17

# KANJI

1. 七つの子
2. あなたの母国語ではカラスの鳴き声をどのように表現しますか。日本では「カーカー」。
3. この擬音語にさらに意味を持たせて「かわいい、かわいい」と解釈したのが野口雨情（のぐちうじょう）です。彼は、日本人なら誰も口ずさんだことのある童謡『七つの子』の作詞者。
4. ところで、日本人が夕暮れの風景を絵にすると、必ず夕焼け空をバックに山を配し、さらにカラスが鳴きながら飛んでいく場面を描くのではないのでしょうか。それくらい、カラスは日本人の「夕方の記憶」になくてはならない鳥なのです。
5. そのカラス、なぜ鳴くのでしょうか。そんなこと、考えたこともないですって?...この意外かつ素朴な疑問に、雨情は次のように答えています。
6. 「カラスは山の中にある巣に七つの子どもがいて、その子がかわいい、かわいいと鳴くのだ」と。
7. さて、「七つ」という数詞ですが「カラスの子どもが七羽いる」とも、「カラスの子どもは七歳である」とも読み取れるため、物議をかもしています。
8. いずれにせよ、「我が子をいとおしむ気持ち」をテーマにしたこの曲は1921年（大正10年）、児童文学雑誌に掲載されて以来、親から子へと歌い継がれている名曲。覚えやすいメロディは本居長世（もとおりながよ）によって作曲されました。
9. カラスに注がれた温かいまなざしを感じる歌詞と、繰り返し歌いたくなるような旋律をぜひ聴いてみてください。

# KANA

CONT'D OVER

1. ななつのこ
2. あなたのぼくごではカラスのなきごえをどのようにひょうげんしますか。にほんでは「カーカー」。
3. このぎおんごにさらにいみをもたせて「かわいい、かわいい」とかいしゃくしたのがのぐちうじょうです。かれは、にほんじんならだれしもくちずさんだことのあるどうよう『ななつのこ』のさくししゃ。
4. ところで、にほんじんがゆうぐれのふうけいをえにすると、かならずゆうやけぞらをバックにやまをはいし、さらにカラスがなきながらとんでいくばめんをえがくのではないのでしょうか。それくらい、カラスはにほんじんの「ゆうがたのきおく」になくてはならないとりなのです。
5. そのカラス、なぜなくのでしょうか。そんなこと、かんがえたこともないですって?...このいがいかつそぼくなぎもんに、うじょうはつぎのようにこたえています。
6. 「カラスはやまのなかにあるすにななつのこどもがいて、そのこがかわいい、かわいいとなくのだ」と。
7. さて、「ななつ」というすうしですが「カラスのこどもがななわいる」とも、「カラスのこどもはななさいである」ともよみとれるため、ぶつぎをかもしています。
8. いずれにせよ、「わがこをいとおしむきもち」をテーマにしたこのきょくはせんきゅうひやくにじゅういちねん(たいしょうじゅうねん)、じどうぶんがくざっしにけいさいされていらい、おやからこへとうたいつがれているめいきょく。おぼえやすいメロディはもとおりながよによってさつきょくされました。
9. カラスにそそがれたあたたかいまなざしをかんじるかすと、くりかえしうたいたくなるようなせんりつをぜひきいてみてください。

## ROMANIZATION

CONT'D OVER

1. Nanatsu no ko.
2. Anata no bokokugo de wa karasu no nakigoe o donoyō ni hyōgen shimasu ka. Nihon de wa "kākā".
3. Kono giongo ni sara ni imi o motasete "kawaii, kawaii" to kaishaku shita no ga Noguchi Ujō desu. Kare wa, nihonjin nara dare shimo kuchizusanda koto no aru dōyō "nanatsu no ko" no sakushisha.
4. Tokorode, nihonjin ga yūgure no fūkei o e ni suru to, kanarazu yūyakezora o bakku ni yama o haishi, sara ni karasu ga naki nagara tonde iku bamen o egaku no de wa nai deshō ka. Sore kurai, karasu wa nihonjin no "yūgata no kioku" ni nakute wa naranai tori na no desu.
5. Sono karasu, naze naku no deshō. Sonna koto, kangaeta koto mo nai desu tte?... Kono igai katsu soboku na gimon ni, Ujō wa tsugi no yō ni kotaete imasu.
6. "Karasu wa yama no naka ni aru su ni nanatsu no kodomo ga ite, sono ko ga kawaii, kawaii to naku no da" to.
7. Sate, "nanatsu" to iu sūshi desu ga "karasu no kodomo ga nana-wa iru" tomo, "karasu no kodomo wa nana-sai de aru" tomo yomitoreru tame, butsugi o kamoshite imasu.
8. Izureniseyo, "wa ga ko o itōshimu kimochi" o tēma ni shita kono kyoku wa sen kyū-hyaku ni-jū ichi-nen (taishō jū-nen), jidō bungaku zasshi ni keisai sarete irai, oya kara ko e to utaitsugarete iru meikyoku. Oboeyasui merodi wa Motoori Nagayo ni yotte sakkyoku saremashita.
9. Karasu ni sosogareta atatakai manazashi o kanjiru kashi to, kurikaeshi utaitaku naru yō na senritsu o zehi kiite mite kudasai.

## ENGLISH

1. "Nanatsu No Ko"

CONT'D OVER

2. How is a crow's call expressed in your native language? In Japan, it's "kā kā."
3. The man who gave this onomatopoeic expression a further meaning, interpreting it as "kawaii, kawaii" ("darling, darling"), was Ujō Noguchi. He wrote the lyrics to a children's song that all Japanese people will have hummed to themselves..."Seven-Year-Old Child" or "Seven Children."
4. Incidentally, when you ask a Japanese person to draw a picture of "evening scenery," surely he or she would draw a scene featuring a sunset sky as a backdrop with mountains in front of it and then a crow flying across the sky, cawing. That's how central the crow is to the Japanese conception of evening.
5. So why do crows caw? You say you've never even thought about it? In response to this unexpected and simplistic question, Ujō gives the following answer.
6. "In the crows' nest in the mountains there is a seven-year-old child; the crows are cawing that that child is 'kawaii, kawaii' ('darling, darling')."
7. This number "seven" has sparked controversy, since it could be taken to mean "the crow has seven children" or "the crow's child is seven years old."
8. In any event, after this song, which is based on the theme of feeling love for one's child, was printed in a children's literature magazine in 1921 (Taisho 10), it became a famous song passed down through generations of parents singing to their children. The catchy melody was composed by Nagayo Motoori.
9. Please definitely give these lyrics, which make you feel warm affection toward the crow, and the melody, which you'll want to sing over and over again, a listen.

## VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
童謡	どうよう	dōyō	children's song, nursery song
母国語	ぼこくご	bokokugo	native language

擬音語	ぎおんご	gionngo	onomatopoeic word
物議をかもす	ぶつぎをかもす	butsugi o kamosu	to arouse criticism
旋律	せんりつ	senritsu	melody
素朴な	そぼくな	soboku na	simple, unsophisticated
まなざし	まなざし	manazashi	a look, a gaze
数詞	すうし	sūshi	a numeral
いとおしむ	いとおしむ	itōshimu	to love, to cherish
解釈する	かいしゃくする	kaishaku suru	to interpret

## SAMPLE SENTENCES

<p>童謡を歌いましょう。 <i>Dōyō o utaimashō.</i></p> <p>Let's sing a nursery song.</p>	<p>母国語は英語です。 <i>Bokokugo wa eigo desu.</i></p> <p>My native language is English.</p>
<p>日本語には擬音語が多いです。 <i>Nihongo ni wa giongo ga ōi desu.</i></p> <p>The Japanese language has many onomatopoeic words.</p>	<p>この事件が物議をかもした。 <i>Kono jiken ga butsugi o kamoshita.</i></p> <p>This incident aroused criticism.</p>
<p>美しい旋律が聞こえる。 <i>Utsukushii senritsu ga kikoeru.</i></p> <p>I hear a beautiful melody.</p>	<p>子供は素朴な疑問を持つ。 <i>Kodomo wa soboku na gimon o motsu.</i></p> <p>Children have simple questions.</p>
<p>わが子へ優しいまなざしを向ける。 <i>Waga ko e yasashii manazashi o muku.</i></p> <p>I send a soft look to my child.</p>	<p>「枚」、「人」、「個」などを数詞と呼ぶ。 <i>Mai, nin, ko nado o sūshi to yobu.</i></p> <p>We call words like "mai," "nin," "ko" and so on numerals.</p>

我が子をいとおしむ。

*Wagako o itōshimu.*

I cherish my child.

哲学書は難しすぎて内容を解釈できない。

*Tetsugakusho wa muzukashisugite kaishaku dekinai.*

Philosophy books are too hard to interpret.

## GRAMMAR

**Natsuko:** オーディオブログ第4シーズン第17課 「七つの子」

**Yuichi:** こんにちは ゆういちです

**Natsuko:** なつこです。今回は何という歌を紹介するんですか？

**Yuichi:** 「七つの子」という歌です。

**Natsuko:** ある鳥の歌ですね。 **Yuchi:** はい。どんな鳥の歌なのでしょう。早速、ブログを聞いてみましょう。

**Natsuko:** この「七つの子」を聞くと、夕暮れ時をイメージしますよね。

**Yuichi:** 5時になるとこの歌と一緒に、「良い子の皆さんはもう、お家に帰りましょう」なんてアナウンスを流す地域もありますよね。

**Natsuko:** なるほど。カラスと一緒におうちに帰るんですね。

カラスっていうと、最近どうしても 凶暴なイメージがあるんですけど、この歌で、子供のことを思って「かわいい~」「かわいい~」と鳴いているんだ。。。というふうに思うとなんだか、憎めないかんじがしますね。

**Yuichi:** それちょっと分かる気がしますね。「かーわいい かーわいい」ってかんじで鳴いているんですね

**Natsuko:** この歌も著作権が消滅しているみたいなので、ゆういちさん、すみませんが、歌詞を読んでもらえますか？あ、もちろん歌ってもらってもいいんですけど

**Yuichi:** はい、わかりました。じゃ、僕の美声で読みます。。カラス、なぜ鳴くの  
カラスは山に  
可愛い七つの  
子があるからよ

**Natsuko:** この最初の部分は簡単ですよ。最初は質問から始まっています。

**Yuichi:** 「カラスなぜ鳴くの？」は「カラスはどうして鳴くんですか？」という意味ですね。

**Natsuko:** その次に理由が説明されています。

**Yuichi:** 理由は、「カラスは、山に七つのかわいい子供がいるから」ですよ。

Natsuko:でも、ブログにもあったように、「七つの子」が、「七歳のカラス」という意味なのか、「七羽のカラス」なのかが、文脈からはちょっとわからないんですよ。

Yuichi:そうですね。どっちもありえますよね。

Natsuko:日本語だと両方とも「七つ」というので

Yuichi:文脈ってのがわからないので、僕、気になって調べてみたんです。

Natsuko:お、さすが。

Yuichi:そうしたらですね、カラスってというのは三歳くらいから、子供が産めるようになるんだそうですね。だから、7歳ってカラスの年齢だと、すでに大人になってるんじゃないかなと。だから、多分、僕の予想では、7羽のカラス・・・という意味だと思います。…ま、作者じゃないのでちょっとわからないですけどね。

Natsuko:なるほど。なかなか説得力がありますよ。じゃ、この歌の最初の部分は、「カラスが鳴くのは、山に七羽の子供がいるからだ」という意味になりますよね。じゃ、次の部分も読んでいただけますか？

Yuichi:はい。

かわいい かわいい とカラスは鳴くの。

かわいい かわいい と鳴くんだよ。 という意味です。

Natsuko:「かーかー」って鳴いているように聞こえるけど、あれは、本当は「かーわいーい かーわいーい」って鳴いているんだよ・・・という意味ですね。じゃ、最後の部分をお願いします？

Yuichi:山の古巣へ 行って見てごらん、丸い眼をした いい子だよ

Natsuko:ここも、わかりやすいですね。山にあるカラスの巣に行ってみたら？カラスの子供は丸い目でかわいいんだよ～。って言うてるんですね。

Yuichi:はい、そうですね。まあ、本当に子供がいるカラスの巣に行ったら、子供を見ようとしたら、カラスに襲われてしまいそうですけどね。

Natsuko:本当ですね。こわいですね。

Yuichi:あ、ちなみに、からすって、大体ひらがなカタカナで書くことが多いと思うんですけども、漢字もありますよね？

Natsuko:そうですね。

Yuichi:ちなみにその漢字ってどう書くか知ってます？

Natsuko:あ、知ってますよ。鳥 という漢字の箱の上の横棒がないという字ですよ。・・・言葉で説明するのが難しいですけど。

Yuichi:この、横棒が一本なくなっているやつですよ。じゃ、なんで、鳥という漢字の横棒が一本ないのか知ってます？

Natsuko:いやー。それはさすがに知りません。

Yuichi:鳥という漢字の上の部分、は 頭を意味しているんだそうです。

そして、その中の横棒は目に当たるそうなんです。

カラスは体が黒くて、目も黒いですよね。となると、他の鳥に比べて、目がどこにあるのか見えにくいから、もう横棒がない、ということなんです。

**Natsuko:**なるほど。目が見えないから、目がないことになってる・・・おもしろい！！漢字ならではの表現っていうかんじがしますよね。

**Yuichi:**はい、これ、面白いですよね。

**Natsuko:**リスナーの皆さんはちょっと言葉だけ聞いてるとイメージしにくいかもしれないので、「烏（カラス）」という漢字をこのレッスンのPDFに載せておきました。是非チェックしてみてください。

**Yuichi:**それでは、このレッスンはこの辺で。 **Natsuko:**さようなら。